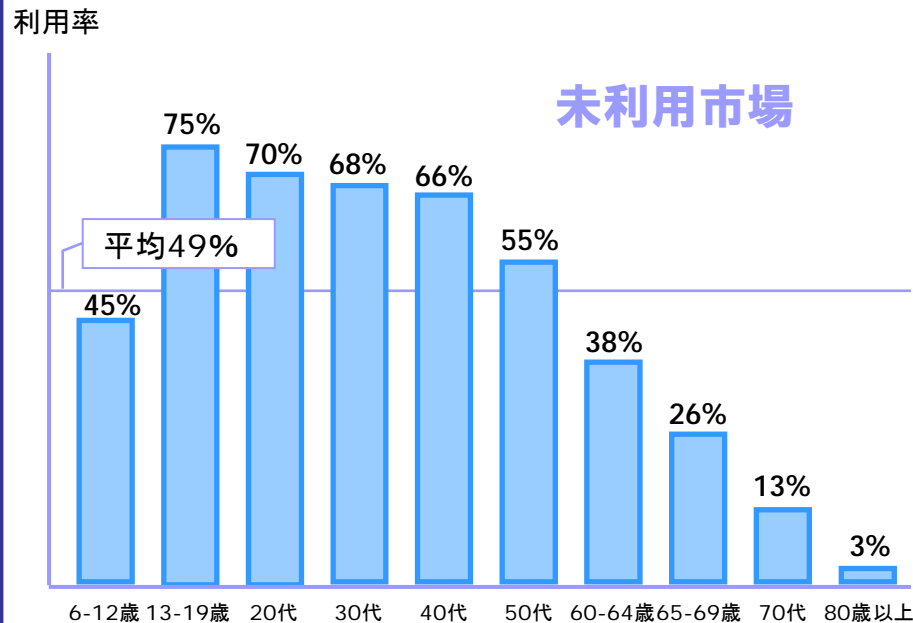


8. 新たな光の利用モデルの構築

- 地域・企業との連携により、光を利用して生活や業務が「簡単」・「快適」・「便利」になる利用モデルを構築し、光の普及拡大に取り組んでいく。

ブロードバンドの利用状況

- ブロードバンド利用率は49%。
- 若年層の利用率が高い一方、60歳以上は平均値を下回る。
→ 高速インターネット接続以外の新たな光の利用モデルの構築が必要。



出典：総務省平成24年版 情報通信白書

※ブロードバンド：FTTH、CATV、DSL、3G、FWA、BWAのいずれか

光の利用モデルの構築

- ブロードバンド未利用者のお困りごとの解決や地域コミュニティの活性化に向け、「光」とICTを活用し積極的にサポートしていく。

地域コミュニティ

- 重茂漁業協同組合様(岩手県)の情報配信モデルを構築。漁協を通じて組合員約400拠点にフレッツ光を導入。

NPO法人との連携

- NPO法人との連携により、シニア向けタブレット教室を開催。

健康・ヘルスケア

買物

フレッツ光で実現する

FLET'S 光
NTT FIBER

スマートライフ

教育・学習

映画・映像

ゲーム

スマートタウン

- 「Fujisawaサステイナブル・スマートタウン」事業に参画。エネルギーの見える化や住民間のコミュニケーションをサポート。



スマートメーター

- 東芝と共同で「東京電力スマートメーター通信事業」に参画。